



## 平成30年度東北都市景観協議会が開催されました

東北地方整備局

東北都市景観協議会は、都市景観に関する施策の推進及び各市町村の情報交換を図ることを目的に毎年開催されており、今年度は、宮城県登米市において10月25日から26日にかけて開催されました。

会議では、登米市長のあいさつに続き、国土交通省から景観まちづくりの最近の取組などについて話題を提供しました。また、東北工業大学講師の中村琢巳氏からは、「地方色の時代へー東北が誇る城下町の建築文化」と題して、大学生が中心となってベースキャンプ方式で実施した青森県弘前市での歴史的建造物の保存活用調査や、登米の良好な景観を形成しているまちなみの魅力などをご紹介頂きました。

また、東北工業大学教授の大沼正寛氏からは、「天然スレートの生活景」と題して、スレートを活用した民家の保全などのご紹介や、文化的景観（生活景）の継承についてのご提案がありました。

2日目は、長沼フートピア公園を訪れ、眺望景観や風車を活かした視点場等を見学し、登米市内の景観特性や課題などについて説明を受けました。

続いて、旧登米町（とよままち）の中心市街地にある「みやぎの明治村」と呼ばれるエリアを訪れました。国指定重要文化財建造物である「教育資料館」（旧登米高等尋常小学校）や市指定重要文化財建造物である「水沢県庁記念館」があり、明治初期の面影を感じさせます。また、武家屋敷通り地区では藩政時代の武家造りのまちなみが形成されているなど、各地域の景観特性を活かしたまちづくりの状況を見学しました。

本会議の取組は、東北地方の市町村の景観まちづくりの推進につながると期待されます。



▲東北都市景観協議会の様子



▲長沼フートピア公園



▲教育資料館  
(国指定重要文化財建造物)



▲武家造りのまちなみ

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：thr-kou-suishin2@mlit.go.jp